



平成20年度 第24回

京都まちとみどり

写真コンクール入選作品集

- 主催 京都府都市計画協会
- 共催 京都府
京都市
(財)京都府公園公社
(財)京都市都市緑化協会
(社)京都府造園建設業協会
- 後援 京都府市長会
京都府町村会
京都新聞社
KBS京都
エフエム京都
NHK京都放送局
- 協賛 京都府造園組合連合会
京都府写真材料商業組合
(社)日本植木協会京都府支部
(社)日本造園建設業協会京都府支部
(財)日本造園修景協会京都府支部
富士フイルムイメージング株式会社
(順不同)

緑のオープンスペースは、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事が行われています。

京都では、この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「緑を活かした暮らし」をテーマに、様々な切り口による京都府内の写真を募集し、「第24回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。特別賞として「向日市長賞」も設けられ、360点の応募作品の中から入選作品44点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京都府・京都市

(財)京都府公園公社

(財)京都市都市緑化協会

(社)京都府造園建設業協会

●●●京都府知事賞●●●

「ハイポーズ」 吉田 茂

●●●京都市長賞●●●

「みんなで…遊ぼう」 谷口 敏子

●●●向日市長賞●●●

「竹林の小径」 高原 修

●●●(財)京都府公園公社理事長賞●●●

「花を摘む母娘」 永木 孝夜

●●●(財)京都市都市緑化協会理事長賞●●●

「ゴーヤの影で」 角田 剛彦

●●●(社)京都府造園建設業協会会長賞●●●

「憩いの園」 津川 孝夫

●●●京都新聞社賞●●●

「休日」 安藤 一朗

●●●KBS京都賞●●●

「緑風」 清水 一文

●●●エフエム京都賞●●●

「カメラマン」 三浦 昭治

●●●NHK京都放送局長賞●●●

「大樹の陰」 真鍋 豊

●●●富士フィルムイメージング(株)賞●●●

「ファンタジー！」 東 義宣

●●●優秀賞(順不同)●●●

「嵯峨野の夕暮れ(散歩道)」 吉田 桃子

「桜が咲いた、咲いた」 深井 賢二

「夏休み」 伊藤 よう子

「緑のカーテン」 酒本 光雄

「グループ行動」 永井 真知子

●●●佳作(順不同)●●●

「放水砲」 井上 千代子

「ママといっしょ」 高橋 好子

「緑に映える水路に行く」 近藤 邦雄

「朝日きらめく散歩みち」 山本 正治

「花いっぱい」 山口 恵一

「エコ屋敷」 池田 俊一

「パラソルの道」 秋田 茂男

「観光への思いやり」 木下 正治

「公園で水遊び」 中山 晃一

「そよ風」 本田 俊子

「川辺の散歩道」 小倉 晃

「エイノヤッ!!」 辻 俊策

「愛宕山、山道」 武藤 昭次

「安らぎの街角」 大内 昌男

「門前ロード」 谷口 隆捷

「オゾンいっぱい(さあスタート)」 川口 邦子

「みどりと小川の或る風景」 今森 保夫

「自由に楽しむ児童」 高橋 且見

「森のちびっこたち」 田中 靖人

「大樹の息吹」 山本 清

「緑茂る小川」 谷 泰雄

「ゴーヤみつけた」 土屋 和正

「清流で水遊び」 桑原 正男

「サルスベリの花咲く頃」 西川 敏弘

「緑にかこまれた福知山城」 松田 寛之

「夏の日の朝」 水野 利彦

「朝の散歩」 小巻 真司

「飛翔(シャボン玉)」 貞 廣雅代

京都府知事賞1点、京都市長賞1点、向日市長賞1点、(財)京都府公園公社理事長賞1点、(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点、(社)京都府造園建設業協会会長賞1点、京都新聞社賞1点、KBS京都賞1点、エフエム京都賞1点、NHK京都放送局長賞1点、富士フィルムイメージング(株)賞1点、優秀賞5点、佳作28点 合計44点

京都府知事賞



「ハイポーズ」 吉田 茂
賀茂川（京都市北区）

京都市長賞



「みんなで…遊ぼう」 谷口 敏子
清水台幼稚園（京都市山科区）

向日市長賞



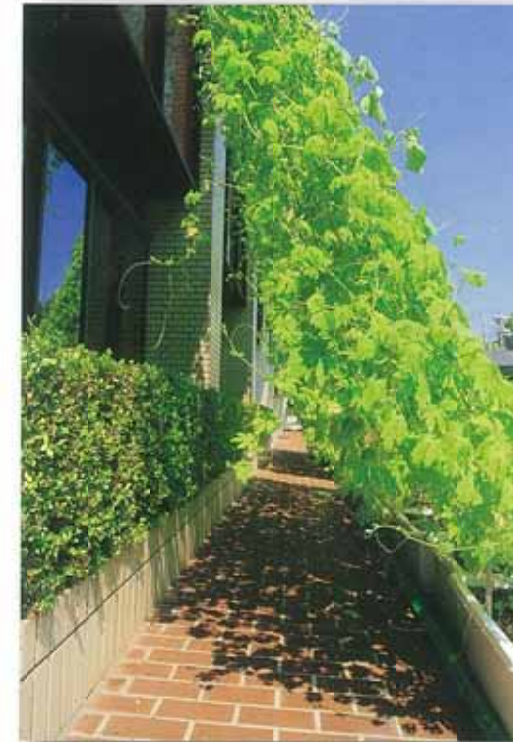
「竹林の小径」 高原 修
竹林 (向日市)

(財)京都府公園公社理事長賞



「花を摘む母娘」 永木 孝夜
舞鶴自然文化園 (舞鶴市)

(財)京都市都市緑化協会理事長賞



「ゴーヤの影で」 角田 剛彦
宇治市役所 (宇治市)

(社)京都府造園建設業協会会長賞



「憩いの園」 津川 孝夫
京都府立植物園 (京都市左京区)

京都新聞社賞



「休日」 安藤 一郎
京都府立植物園（京都市左京区）

KBS京都賞



「緑風」 清水 一文
岡崎（京都市左京区）

エフエム京都賞



「カメラマン」 三浦 昭治
京都府立植物園（京都市左京区）

NHK京都放送局長賞



「大樹の陰」 真鍋 豊
京都府立植物園（京都市左京区）

富士フィルムイメージング賞



「ファンタジー！」 東 義宣
京都府立植物園（京都市左京区）

優秀賞



「嵯峨野の夕暮れ(散歩道)」 吉田 桃子
嵯峨野（京都市右京区）



「桜が咲いた、咲いた」 深井 賢二
京都府立植物園（京都市左京区）



「夏休み」 伊藤 よう子
北嵯峨（京都市右京区）



「緑のカーテン」 酒本 光雄
本町22丁目（京都市東山区）



「グループ行動」 永井 眞知子
宇治平等院通（宇治市）

佳作



「放水砲」 井上 千代子
美山町（南丹市）



「ママといっしょ」 高橋 好子
梅小路公園（京都市下京区）



「緑に映える水路を行く」 近藤 邦雄
伏見（京都市伏見区）



「朝日きらめく散歩みち」 山本 正治
宇治川派流（京都市伏見区）



「花いっぱい」 山口 恵一
妙心寺町（京都市右京区）



「エコー屋敷」 池田 俊一
御陵大津畑町（京都市山科区）

佳作



「パラソルの道」 秋田 茂男
阪急西向日駅近く（向日市）



「観光への思いやり」 木下 正治
白川（京都市東山区）



「公園で水遊び」 中山 晃一
勝山公園（向日市）



「そよ風」 本田 俊子
鴨川（川端丸太町付近）（京都市左京区）



「川辺の散歩道」 小倉 晃
宇治川派流（京都市伏見区）

佳作



「エイ!ヤッ!!」 辻 俊策
太陽が丘 (宇治市)



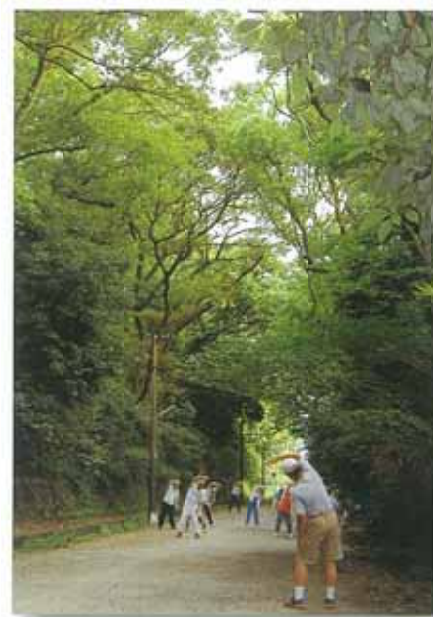
「愛宕山、山道」 武藤 昭次
嵯峨鳥居本付近 (京都市右京区)



「安らぎの街角」 大内 昌男
青野町 (綾部市)



「門前ロード」 谷口 隆捷
九条通 (東寺南門前) (京都市南区)



「オゾンいっぱい (さあスタート)」 川口 邦子
梨木通 (京都市上京区)

佳作



「みどりと小川の或る風景」 今森 保夫
山科川と旧安祥寺川の合流点 (京都市山科区)



「自由に楽しむ児童」 高橋 且見
京都府立植物園 (京都市左京区)



「森のちびっこたち」 田中 靖人
京都府立植物園 (京都市左京区)



「大樹の息吹」 山本 清
京都御苑 (京都市上京区)



「緑茂る小川」 谷 泰雄
白川行者橋上ル (京都市東山区)



「ゴーヤみつけた」 土屋 和正
向日市役所前 (向日市)

佳作



「清流で水遊び」 桑原 正男
下鴨神社（京都市左京区）



「サルスベリの花咲く頃」 西川 敏弘
梅小路公園（京都市下京区）



「緑にかこまれた福知山城」 松田 寛之
福知山城（福知山市）



「夏の日の朝」 水野 利彦
宇治平等院近く（宇治市）



「朝の散歩」 小巻 真司
小畑川中央公園（京都市西京区）



「飛翔（シャボン玉）」 貞廣 雅代
上終公園（京都市左京区）

第24回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 木村 尚達（京都写真家協会会長）

都市緑化月間行事の一環として、本年も「京都まちとみどり写真コンクール」が開催されました。地球温暖化防止に関する緑の役割への関心が高まる中、わたしたち一人ひとりが気づかなければならない「緑を活かした暮らし」について、様々な切り口から捉えた作品を募集しました。また、特別賞として今回は向日市内の写真を対象とした「向日市長賞」が設けられました。今回の応募点数は360点、141名の方から御応募いただきました。全体に「緑を活かした暮らし」というテーマに沿った、レベルの高い応募作品でした。

京都府知事賞

川を渡る飛び石、その上での孫とその母、祖母、三人のナップ。祖母の覗き込む姿勢、母親の撮る姿勢、ぎこちなくピースをする子どもの仕草。それぞれが生き生きとした自然なポーズで、よく撮られています。背景には「豊かな水と鮮やかな緑」が申し分なく描かれ、画面に対する人物の大きさも適切で、また、水面の濃い部分に三人を配した点も完璧でした。

京都市長賞

幼稚園児の野外学習のひとつまででしょう。大きな楠の木陰に、先生と楽しく遊ぶ園児たちの動きがうまく撮られています。人物の配置や構図もよく、緑と人間の密接な関わりが画面全体からうかがえる優れた作品です。赤い帽子が作品をより引き立てています。

向日市長賞

静かな竹林の道。奥行きのある落ち着いた風景写真です。竹の落ち葉と遠くに漂う朝霧が冷涼な空気を一層感じさせ、重厚な色調と相まって単なる市の紹介写真を超える風景作品に仕上がっています。また、構図的にも大胆で新鮮なものを感じます。

(財) 京都府公園公社理事長賞

緑と黄色い花に囲まれた公園、やわらかな木陰から母と子の明るく弾む声が聞こえてきます。花を摘む子どものポーズと、子どもに声をかけ見つめる母のやさしい視線。ゆったりとした時間の流れの中で、自然につつまれ安全な環境で子どもを育てることの必要性を訴えるヒューマンな良い作品です。

(財) 京都市都市緑化協会理事長賞

よく晴れた、いかにも暑そうな夏の昼間。プランターに植えたゴーヤのカーテンが暑さを遮る効果を発揮しています。「緑を活かした暮らし」というテーマに対してストレートに向かい合い、鋭い社会的な視点でゴーヤをモチーフに選ばれたセンスは素晴らしいと思います。地面に落ちた影が効果を一層強調しています。

(社) 京都府造園建設業協会賞

木蔭に涼を求め、休息しながら花壇の花を眺め、楽しむ人々。緑樹の恵みを満喫しておられるのどかな風景です。シルエット気味な三人の表情までは判りませんが、会話が弾んでいるようです。西洋絵画のような雰囲気を感じさせる作品に仕上がっています。

京都新聞社賞

大きな木々のトンネルをくぐり、緑の森に吸い込まれるように向かうヤングママの四人。サルビアの咲く晩夏の植物園で、ベビーカーを等間隔で押す姿が印象的です。子育ての喜びが溢れたゆったりとした良い作品です。画面の大半を樹木が占める構図が緑のパワーを感じさせ、テーマをより効果的に、鮮明にしています。

KBS京都賞

画面の大部分をシルエット気味に扱った、魅力的な深みのある作品です。動きのある女性二人のシルエットと朱色の現代彫刻、よく整った街路樹と落ち着いた雰囲気の石畳など、

緑と調和した美しい文化的な都市空間を表現した好感の持てる作品です。

エフエム京都賞

花菖蒲の咲きそろった庭園の橋を歩きながら、カメラを覗く少女の姿。季節感あふれる軽やかな良いスナップ写真です。背景の緑と調和した少女の服や帽子のパステルカラーが、色彩的にも明るい作品にしています。

NHK京都放送局長賞

「大樹の陰」に憩うために遠足の子も違や引率の人々が集まっています。緑の恩恵を体一杯に受けて、ひと時を過ごす集団をストレートに表現した作品です。太陽を受けた緑と日陰の緑が交互に重なり樹木の立体感がよく出ています。

富士フィルムイメージング賞

噴水のしぶきを背景に飛び石を渡る子どもの元気な姿。手前には赤い花々が、幻想的な雰囲気を出しています。スナップ写真というより、写真の表現テクニックを使った素晴らしい作品といえるでしょう。もう少し「緑」を意識して撮影されたらもっと良くなったでしょう。

優秀賞

「嵯峨野の夕暮れ（散歩道）」
静かなのんびりとした嵯峨野の風景。傾いた日差しの中、野を焼く煙が漂う。犬の散歩の二人。この時間帯しか撮れない落ち着いた作品です。

「桜が咲いた、咲いた」
花見の宴から飛び出して遊んでいる幼女でしょうか。画面の真ん中に幼女を配し、自然な仕草で可愛く撮れています。桜の一枝が逆光の被写体にかかっているのが効果的です。

「夏休み」
まさに「夏休み」に祖父母の家を訪れた、孫とのふれあいのシーン。高く伸びたヒマワリとの背比べなど楽しい思い出がいっぱい！おじいさんの笑顔がすべてを伝えています。

「緑のカーテン」
緑の蔓花が見事に住宅を包んで涼しさを提供しています。犬の散歩もいきいきと表現。住環境と緑のかかわりを日常の中からよく捉えています。

「グループ行動」
修学旅行生の開放的な散策風景でしょうか。バックの新緑が生徒たちの若さを象徴しているようです。

総評をいたします。
24回を数えるこの「京都まちとみどり写真コンクール」も作品の類型化、マンネリ化が心配されておりますが、その心配は無用。見事今回も新しい視野で捉えた優秀な作品が多数応募されました。素晴らしいことです。ただ、一部ですが、デジタル作品の中にはプリント仕上げ前の段階での未熟な作品がありました。特に色調が現実的でないものなどが見られ、なお一層の画質向上を期待いたします。



第24回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集

平成21年3月発行

発行・編集／京都府都市計画協会・(財)京都市都市緑化協会 印刷／(株)サンエムカラー